



こここのところの寒の戻りと冷たい雨で外に出て作業をするという発想の微塵も無かったのですが、紙谷さんは少々晴れ間をみはからってすでにサトイモ、ニンジン、ジャガイモ、だいこんを蒔き終えていました。紙谷さんいわく「寒くとも地熱はもう充分あるので、植物は人間様より敏感だだでね」と畑の横では夏野菜の苗などの用意もバッチリ出来上がっているではありませんか。そうです！農業人はほんやりしちゃいけないんだ 仕事は退屈と悪事と貧乏を遠ざける！



大鹿村 春のイベント日程



● 4月10日 (土)

大原 大磯神社御柱祭

鹿塩 市場神社御柱祭

午前 里曳き

午後 投げ餅に続き余興、大鹿歌舞伎、獅子舞 など

● 4月17日 大鹿桜祭り

大西山で午前10:00~午後3:00まで

● 18日 葦原神社歌舞伎上演

演目：鎌倉三代記 (前日御柱祭)

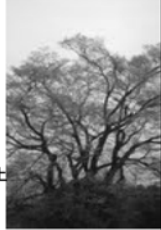
● 29日 信濃宮 季花の祭り

● 5月3日大鹿歌舞伎

春の定期公演

今年7月10日早く飯田では桜が開花しました。生き物の営みは月の満ち欠けに応じて巡るものように満月の先月30日に一斉に開花し始めました。飯田の桜は特に月の光に敏感だと桜守(ガイド)の方はおっしゃいます。大鹿の桜はまだ蓄ですが、今週の天気回復で一気に開花となりそうです。大鹿桜祭りは今年17日ですが、完全に葉桜となつていそう、御柱の日程に合わせていただくと、余興で行われる歌舞伎の短い演目と共に桜も楽しめそうです。桜の開花と共に田んぼの仕事も始まるのがこの季節、ご夫婦で仲良く土仕事に向かわれる姿がこちらこちらで見られます。

右：飯田を代表する飯田美術博物館前の安富桜 やすとみさくら 樹齢350年以上



左：麻績の舞台桜 近年新種と断定される 普通の桜は花びら5枚なのに対し8枚から13枚ある

4月1日からジャンボタクシーで桜守と行く飯田桜めぐりははじまりました。7日までの日程で毎日2便、ずつ運行されています。初日は冷たい雨の一日となりましたが、雨雲に溶け入りそうなのな幻想的な桜を堪能して参りました。今週末がピークとなりそうです。地元にいると「話には聞く有名な桜」が多いのですが直接足を運び、その歴史を学ぶよい機会でした。また桜は手をかけないと育たない樹木であるということからこの地域に残る数々の銘木を育ててきた先人たちの愛情を感じると「日本人の桜を楽しむDNA」が永きにわたって培われてきたものだということをおぼろげにはいられません。このツアーは完全予約制ですお問い合わせは飯田観光公社0265-28-1747

地芝居の源流を探る~その2~ 中尾にお住まいの古屋敷 彰美 さん (82)に聞く

葦原神社をまつる鹿塩東部地区(中峰、梨原、沢井、入沢井)は大鹿村の地芝居、発祥の地といわれ、大正から昭和の戦後にかけて、舞台の大小道具、綺羅までも地域住民によって作られました。これは「中峰の綺羅」と呼ばれ大河原はもちろん隣の中澤村(現在伊那市長谷)、松川町、生田、下条村にも戦後評判が評判を呼び、貸し出されたということです。大鹿村の歌舞伎にしかない「六千両」という演目が始めて演じられたのもこの葦原神社舞台です。伝わっている話によるとM35年ごろ大河原の中尾に住んでいた小林よしあつという人が

関西で歌舞伎を見聞きしてきて、その芝居を地元でも再現しようとしたのが始まりで古屋敷さんの祖父麻次郎さんがその台本(六千両)を書きおろし5、6年の歳月をかけ舞台、衣装小道具を、そろえM42年に初めて上演した結果、大変好評！それが今に伝わっています。戦時中、芸能が虐げられる期間もあったなか中央では「伊那谷のある奥深いところには大変芸能好きな人々がいるから。そこでだったらお上の目も届くまい」と、こぞで秋葉街道を歩いてやてきたはず。大鹿の人々は目を肥やしつつ、舞台に励んだことでしょう。今日の地芝居は当時の芸能にける双方の人々の熱い思いを伝えるものでもあります。

春眠暁をおぼえず・・・寝る子はよく育つ・・・悪いやつほどよく眠る・・・



「春の山菜」

ご注文承り中！！

5月初旬ごろまで旬の山菜をお送りしています。この季節は、のひる、はなうど、カンゾウ、うこぎ、あさつきなどです。季節が進むにつれ内容はどんどん変わっていきますが、毎回5種~8種程度。チルド送料込み S60 (郵便局の一番小さなサイズ) の箱で2390円にて承り中。ご希望の方は下記までお知らせください。

0265-39-2037 くみ

3月26日から3日間にわたる伊那谷最大の祭典「飯田お練祭」が幕を閉じました。天候にも恵まれ前を上回る32万人の方が訪れました。(飯田の人口が6万4千人程なので「すごい!」最後の日に親にいきましたが、いいおじ様方があんなにいきいきと足を高々と上げ激しい動きを3日間もされてきたのかと思うと感慨深かったです。飯田のTSUTAYA CDショップではお練のDVDの予約が殺到しているということで、人気アイドルグループ嵐のCD予約件数を圧倒的に超え、店員は驚いているということです。それだけ多くの方が参加され、また参加したことに誇りを感じる7年目一度の一大イベントなのです。また6年後にむけて「お練貯金」なるものが各家庭で始まっているということです。男性はお練にのめりこむ反面その妻は資金繰りに苦労するそうです。



2010 卯月
前志満 くみ
第 13 号